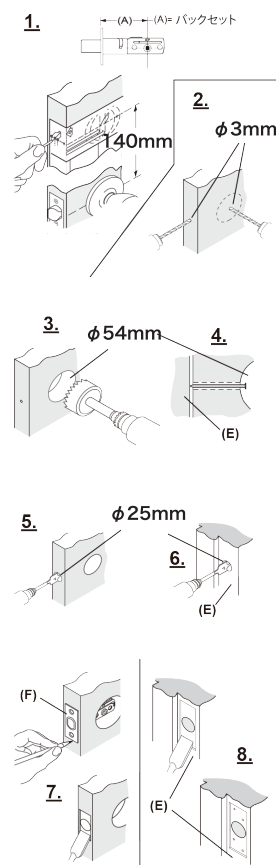


図 1

ドアの穴あけ (新規穴)

※このテンプレートは原寸ではございません。
別紙英文取扱説明書のテンプレートをご使用ください。

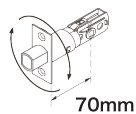


- 標準のバックセット (A) は、60 mm または 70 mm です。調整可能なラッチには、既存のロックと同じバックセットを推奨します。
B. テンプレートの折目を、中心線140 mmがバックセットの中心線上に来るように、ドア端部に合わせます。
C. 選択したバックセット (A) を使って、ドア面の穴中心をマーキングします。
D. ドア端部のほぼ中心をマーキングします。
- マーキングした箇所に、直径3 mmの下穴をあけます。ドア端部に深さ51 mmの下穴をあけます。
- 削れ防止のため、直径54 mmの穴をドア厚の半分程度まであけた後、反対側からあけて仕上げます。
- 受座穴の位置をマーキングするには、ドアを閉め、51 mmの並ぐぎを54 mmの穴の中から下穴に通し、ドア枠 (E) に圧痕が付くまでくぎを押し込みます。
- ドア端部に直径25 mm、深さ51 mmの穴をあけます。
- ドア枠 (E) に直径25 mm、深さ25 mmの穴をあけます。
- ドア端部のラッチのフロント (F) をトレースし、深さ4 mm程度の彫り込みを入れます。ドライビンラッチであれば、彫り込みは不要です。ねじ穴中心をマーキングし、直径3 mmの下穴をねじ長さと同じ深さまであけます。
- ドア枠 (E) の受座をトレースし、深さ2 mm程度の彫り込みを入れます。ねじ穴中心をマーキングし、直径3.6 mmの下穴をねじ長さと同じ深さまであけます。

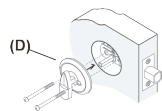
取付説明書

① バックセット (A) の寸法を測り、60 mmか70 mmかを確認します (図1を参照)。

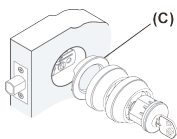
② 70 mmの場合は、図に示すようにボルトを伸ばしてラッチを調整します。



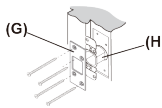
④ ターンピース組立品 (D) を、ラッチボルトを引き出した状態で取り付けます。



③ 外側シリンダー組立品を取り付けます。穴径が54 mmの場合のみ、シールド (C) を使用します。穴径が38 mmのときは使用しません。



⑤ 受座 (G) とオプションの受座ボックス (H) を取り付けます。ねじには下穴が必要です。詳細はドアの穴あけ (新規穴) の手順8をご覧ください。



警告: どのような施錠であっても、それ単独では完全な安全性を提供することはできません。この施錠をしていても、何らかの方法で破られたり、迂回して侵入される恐れがあります。施錠だけに頼らずに、注意や用心するようにしてください。用途に合わせた多様な性能レベルのハードウェアもご用意しています。安全性を高め、危険性を低減するためには、セキュリティの専門家などにご相談ください。